

令和6年度 年度事業評価書

評価対象期間	令和6年4月～令和7年3月分
施設名	鹿野そば道場
指定管理者名	株式会社ふるさと鹿野
指定管理期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
施設所管課名	農林水産部農政企画課

1. 事業評価

確認する内容	指定管理者	施設所管課		
	自己評価	評価	確認方法	備考
I. 公共サービスの実施状況				
1 仕様書・事業計画に基づく事業が適切に行われたか	3	3	書類・聞取り	
2 基準に基づき、適切な人員配置がなされたか	3	3	書類・聞取り	
3 業務に必要な研修や職員の育成・指導が適切に行われたか	3	3	書類・聞取り	
4 平等利用が確保され、利用者から利用許可に対する苦情がないか	3	3	聞取り	苦情なし。
5 利用実績に関する帳簿が作成され適正に管理されているか	3	3	書類	
6 減免対象者は、適切に減免しているか			聞取り	該当なし。
7 地域の活性化につながる社会貢献活動等への配慮はあるか	3	3	書類・聞取り	地域に根ざした運営を行っている。
8 満足度調査を実施し、その結果は妥当か	3	3	聞取り	
9 利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施しているか	3	3	聞取り	
10 利用者拡大のための改善・努力がなされているか	3	3	書類・聞取り	HP、SNSを利用して随時情報発信を行っている。
II. 施設の維持管理の実施状況				
11 清掃・衛生管理は適切に行われているか	3	3	書類	
12 備品・設備・施設の点検・修繕は適切に行われたか	3	3	書類	適切に行っている。
13 消耗品の補充が適切に行われているか	適切	適切	書類	
14 再委託先の業務を適切に管理しているか	3	3	聞取り	適切に管理している。
15 点検によって異常等が認められたとき、速やかに適切な処置が実施されているか	3	3	聞取り	適切に実施している。
III. 施設の経営状況				
16 事業収支は妥当であるか	3	3	書類・聞取り	
17 施設の運営に要する経費節減の努力は、適正になされているか	3	3	書類・聞取り	光熱水費など経費削減に努めている。
IV. 法令等の遵守状況				
18 個人情報の管理は適切に行われたか	3	3	現地確認	事務所内で適切に管理している。
19 市税、国税、社会保険料等の滞納はないか	滞納なし	滞納なし	書類・聞取り	滞納なし。
20 労働関係法規(労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法など)を遵守しているか	適切	適切	書類・聞取り	遵守している。
21 設備、施設の法定点検、必要な届出は実施されているか	適切	適切	書類、現地確認	

確認する内容	指定管理者	施設所管課		
	自己評価	評価	確認方法	備考
V. 施設運営に関する情報の公開				
22 HP等可能な媒体を利用して情報公開しているか	3	3	聞き取り	HP、SNSを活用して適宜情報発信を行っている。
23 指定業務にかかる文書の保存が適切に行われ、情報公開請求等に対応できるか	3	3	聞き取り	
24 市への報告体制が確立されているか	3	3	書類	事務所内に掲示。
VI. リスク管理の状況				
25 基準に基づき保安・警備業務が適切に行われたか。鍵の管理は適切か	3	3	書類・聞き取り	
26 緊急体制マニュアルは整備されているか、緊急時体制は職員に理解されているか	3	3	書類・聞き取り	

2. 指定管理者の経営状況に関するコメント

指定管理者	<p>核となる施設山紫苑は、宿泊休憩の利用者は前年度を上回ったものの目標には届かなかった。売上も前年度を7,460千円上回ったが、それに伴う経費も増加し収支は多少改善されたものの▲11,407千円となった。年間を通し調理師不足の影響が大きく課題の一つとなっており、早期解決が必要な状況となっている。温泉館は元旦に玄関に車が突っ込むというアクシデントがあり、修繕の為2週間休業することとなったが、低料金とサウナ人気で利用者は増加傾向にあり最終利益を確保することができた。そば道場は薬味のワサビを鹿野に所縁のある生姜にかえ、新商品として「鹿野菅笠そば」を開発し、マスメディアにも取り上げられ話題を提供した。利用者の食事利用は前年度より増加したが体験はスタッフ不足による制限もあり減少してしまった。売り上げは値上げや「鳥取ねんりんピック」への手土産提供などにより増加し、今年度も黒字を計上することができた。一方、おもしろ市場は今年度7月、直販からふるさと鹿野主導による買取り方式に変更したが、出荷者の高齢化にもより思うほど野菜類が集まらず商品不足の解消には至らず、前年度より赤字は大幅に増加してしまっ。そば処もスタッフの都合で休業したり長年勤務した専属スタッフの退職により休業日を週2日にしたりと、通常営業が出来なかったこともあり、昨年に引き続き赤字計上となった。加工所部門はとち餅など餅類を限定して製造し、製造委託している鹿野そばやそばつゆとともに販売していたが、年末にそばの売り上げを見越して大量に仕入れたが在庫で残ってしまい低価格で販売したことや、そば茶開発のための経費がかさみ赤字を計上する結果となった。切花部門は仕入れ価格の上昇と需要の減少により普段の月はマイナスになっているが、需要の多い彼岸、盆、正月の利益で最終利益を確保することができた。農業部門は米価の高騰により野菜類の売り上げ減少分以上の収入となり、国からの交付金は支給基準の見直しの話もあったが、最終的に計画通りの支給があり収支は前年度より大幅に増加した。交流館は4回目となる「昭和レトロ展」や「西いなばサイクルDAY」、「城下町マルシェ」など地域と密着したイベントを開催し大盛況のうちに終え、地域への来訪者拡大の効果もたらした。全体として、赤字部門の山紫苑やおもしろ市場を農業部門やそば道場が支え、前年度の赤字を4,550千円改善したが最終損益は、4,408千円の赤字を計上する結果となった。</p>
施設所管課	<p>メニューの工夫や、イベントへのそば提供により大きく収支を改善することができた。食料・売店売り上げを引き続き伸ばしていただき、安定した経営を続けていただきたい。</p>

3. 自主事業の実施状況に対するコメント

指定管理者	<p>今年度10月には「鳥取ねんりんピック」に協賛出店し全国から来県された選手の皆様に鹿野そばをPRする機会をいただきました。また、「そばの町鹿野」をPRする取り組みとして鹿野町内の飲食店の方と話し合いの場を設け、3月に鹿野往来交流館主催のイベント「城下町マルシェ」で、そば道場はじめ各店舗が開発した鹿野そばを使用した商品販売し、新たな商品をPRすることができました。10月に行われた「鹿野わつたいな祭り」では恒例の蕎麦の早食い選手権が実施され美味しい鹿野そばに好評を得ることができました。</p>
施設所管課	<p>今後も機会を捉え各種イベントに参加いただき、鹿野そばを鹿野町内・鳥取市内のみならず県内外へと発信いただくことを期待する。</p>

4. 総括コメント

指定管理者	<p>そば道場は薬味のワサビを鹿野に所縁のある生姜にかえ、新商品として「鹿野菅笠そば」を開発し、マスメディアにも取り上げられ話題を提供した。利用者の食事利用は前年度より増加したが体験はスタッフ不足による制限もあり減少してしまった。売り上げは値上げや「鳥取ねんりんピック」への手土産提供などにより増加し、今年度も黒字を計上することができた。</p>
施設所管課	<p>安定して黒字経営を維持しており、昨年と比較しても収支は改善されていることが評価できる。一方で物価高による商品仕入額などは高騰しているため引き続き注意が必要である。</p>

※記入について

評価区分	4 求める管理水準を満たし、かつ水準よりも優れた内容がある
	3 求める管理水準が適切に実施されている
	2 求める管理水準に概ね沿った内容であるが、一部に課題がある
	1 求める管理水準に沿っていない内容があり、改善を要する
	0 求める管理水準が遵守されてなく、不適切な管理運営がなされている
確認方法 (施設所管課のみ)	書類確認、聞き取り、現地(館内)確認、実態確認等
備考	評価区分が3以外である理由やその他の特記事項

